

心臓リハビリテーションNEWS

当院における外来心臓リハビリテーションの推移

心臓リハビリテーションにとって最も重要なのは『長期予後の改善』であり、入院だけの介入ではなく、退院後も①適切な指導の下での運動療法継続②生活習慣の改善③増悪期の早期発見の3本柱を診ていきたいとのスタッフの強い意志のもと、2015年6月開設のわずか2か月後の8月から外来リハビリを開始しました。当初は通ってまで来てくれる患者さんはどの程度いるのだろうか不安な面もありましたが、心臓病を抱えながら不安な思いで暮らしている方々が多く、運動しながら不安な思いを打ち明け、適切に指導をすることで安心した気持ちで帰られる方が多いです。また、実際に増悪期の早期発見から早期治療につながった例など重篤になる前に入院し、早期に退院し外来リハビリへ復帰できた例も多くありました。

年々外来心臓リハビリの実施数は上がっております。（下記図参照）少し狭い部屋ではありますが、できる限り院内・院外関係なく継続して受け入れていき、地域の安心に役立てていきたいと思っています。



2019年度は
974名に実施
しました！

1単位は20分・205点

感染予防のための病棟内での心臓リハビリの様子



当院では新型コロナウイルス感染症対策として、入院患者様のリハビリは病棟フロアのみで行い、外来リハビリ患者様など院外からの接触による感染を防止し、安心して入院リハビリが実施できる取り組みを行っています。

当院ならびに心臓リハビリテーション学会の指針に従い以下の点に注意して実施しています。

- ①リハビリ前後にスタッフ・患者様ともにアルコール手指消毒を行う。
- ②患者様・自転車エルゴメーター機器の間隔を2m以上空け有酸素運動を行う。
- ③窓を開け換気を行う。
- ④使用した場所や物品はその都度、除菌・洗浄剤を含んだペーパータオルと次亜塩素酸ナトリウム液を含んだガーゼでの2度拭きする。

入院患者様には限られたスペース・設備でご迷惑をおかけしていますが、引き続き密閉・密集・密接の「3密」を防ぎ、感染予防を図りながら心臓リハビリテーションを行ってまいります。